

## 区立幼稚園用途転換等計画（素案）、子ども・子育て支援新制度説明会

## 1 日時・参加者等

実施日時	場所	参加者	ひととき保育利用者
9/18（水）午前10時から	三茶しゃれなあど	48	11
9/20（金）午後3時から	玉川区民会館	16	6
9/24（火）午後6時から	梅丘パークホール	9	2
9/28（土）午後6時から	烏山区民会館	31	2
9/30（月）午後6時から	成城ホール	21	4
計		125	25

## 2 配布資料

- 「区立幼稚園用途転換計画」（素案）について
- 「区立幼稚園用途転換計画」（素案） 概要版
- 「区立幼稚園用途転換計画」（素案） 全文
- 当面のスケジュール
- 子ども・子育て支援新制度の概要
- アンケート

## 3 主な質疑

## ○子ども・子育て支援新制度について

主な質問・意見	回答・区の考え方
・給付区分の認定とはどういうことか。	◇保育の必要性について、一人ひとり認定することである。
・保育ママは、これまで保護者と直接契約だった。新制度では、地域型施設として利用者が割り振られることになるのか。	◇利用調整の考え方では、申請は区になると話したが、実際の運営で、原則どおり保育ママや企業内保育所なども個々の利用調整の枠に入るのか、地域の実情に応じたものにできるのかは、今後詳細が決まり次第お知らせしていく。
・新制度のメリットは何か。	◇恒久的に安定した財源を確保できること。保護者から見ると、ニーズ調査に基づいた真に必要なサービスを自治体が計画して実施することなどである。
・保育を必要とする・しないの違いは何か。	◇保育を必要としない＝保育サービスを使わないという、現在と同じ考え方である。

## ○認定こども園への移行について

主な質問・意見	回答・区の考え方
・こども園へ移行するメリットは何か。	◇幼児教育・保育を総合的に提供できること、多様化するニーズに対して多様なメニューを準備することなどがあり、社会全体で子育てを支援・

	充実させていくという考え方である。
・認定こども園の公私の違いは何か。	◇運営主体がどこかで公私が分かれる。私立の公私連携幼保連携認定こども園は、法人と区長が協定を結び、運営に一定程度関わらせていただく。新しい制度なので詳細を確認して検討したい。
・これまでの幼稚園と違い、3歳児から受入れるのか。	◇法律上基本は3歳児からだが、詳細の定員も含めて今後検討する。
・認定こども園において、幼稚園枠と保育園枠間の相互の移動は担保されるのか。	◇国では、一定の範囲で定員の超過を認める検討をしている。
・先生は、幼稚園教諭になるのか、それとも保育士か。	◇新たに創設の「保育教諭」（両資格の併有者）になる。一方の資格しかない場合、経過措置期間中に一定の講義の受講等により資格を得ることが可能になる。
・定員（幼保のバランス）はどうなるのか。	◇ニーズ調査の結果や幼稚園の充足率を考慮して設定する。
・0歳を受入れたら、幼稚園枠が減るのではないか。 ・結果的に幼稚園に入れない問題が発生するのではないか。	◇充足率が高い園では、幼稚園児の定員減はできるだけ避けたいと考えており、当面区立幼稚園と考えたい。施設の老朽化の問題もあり、改築に合わせて、定員規模も検討していきたい。 ◇認定こども園は3～5歳の教育の実施が基本で、0～2歳は努力規定。0歳を設置する場合、職員配置基準にも大きく影響するが、区の保育サービス待機児は1～2歳に集中しており、利用ニーズ等も考慮し園ごとに対応したいと考えている。 ◇これまでの2年保育の需要もあると考えている。素案にあるように4・5歳の定員は最大限配慮したいと考えており、不安のない移行をめざす。
・他区の事例で、理想とするモデルはあるか。	◇既存建物の活用方法や小学校との複合化による小学校との円滑な接続効果もあり、メリットはそれぞれある。施設環境の制約を踏まえ、整備手法を考える。

#### ○移行の内容（移行年次・方法、募集停止、運営）について

主な質問・意見	回答・区の考え方
・H27は9園で募集とあるが、H27.4入園児のことか。それは2年保育なのか、3年保育か。	◇H27.4入園の2年保育である。ただし、H28用途転換の園は、募集内容が変わることがある。
・認定こども園の移行はH28からで、それまでは2年保育の幼稚園で良いか。	◇H28移行に、段階的に実施するので、それまでは現状と変わらない。

・私立の移行の場合、募集停止をするのか。	◇これまで移行した2園は募集停止をし、その後施設整備をした。同様の対応を考えている。
・調理室を整備すると、園庭が狭くなると思う。工事期間中在園児へどのような配慮を考えているのか。	◇国が基準を検討している。基準に適合しなければ当面は区立幼稚園で運営する。老朽化で改築する段階で認定こども園に移行を想定している。工事は夏季休業中を中心に実施する。
・一体整備の場合、預かり保育は施設を移動して実施するのか。	◇他区では年齢によって分けている例もあるが、施設の条件や規模により検討していく。
・預かり保育は月ごとの申込だが、利用しにくい。単純な拡大は、待機児対策としては効果がないのでは。	◇預かり保育については、制度全体として検討していく。
・概要版にある*以下の記載はどのような意味か。	◇今回の用途転換は長期スパンで考えている。現在は認定こども園が基本だが、先々ニーズが大きく変われば、私立の保育園への転換の可能性もありうるということである。
・移行に関する周知方法はどのように考えているのか。	◇28年度移行段階的に移行していくので、各園の状況に合わせて時期がきたら説明する必要があると考える。移行の内容は丁寧に情報提供していきたい。

#### ○認定こども園への移行を区立5園・私立4園にした理由について

主な質問・意見	回答・区の考え方
・利用料が同じなら、認定こども園は公私どちらかで良いのではないか。	◇幼児教育の充実、実践の場を設けたいということから区立を検討し、区で地域行政制度を実施する中で1地域1ヶ所とした。また、区立は国等からの財政上の支援がないが、私立は国の支援がある。今後、安定的財源を確保し幼児教育を実施するという観点から、また、学校改築に合わせ合築等により経費節減できる条件が整いそうな点も踏まえている。
・認定こども園を区立5、私立4とした判断基準が知りたい。	

#### ○配慮を必要とする子どもへの対応について

主な質問・意見	回答・区の考え方
・数の論理では待機児問題と要配慮児では、要配慮児が弱くなる。対応を制度として整備できないか。	◇これまでの区立幼稚園の取り組みを活かし、素案の考え方として4つの視点で述べたとおり、安心して幼児教育・保育を受けられる体制を作るのが使命である。
・配慮児のニーズも年ごとに違うのではないか。	
・私立認定こども園で配慮児の受け入れをするのは、事実上困難ではないか。	◇公私連携幼保連携認定こども園における協定の中で、配慮児童の受入について明記したい。併せて、私立幼稚園への支援も充実したい。

### ○認定こども園の保育料について

主な質問・意見	回答・区の考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園になることで保育料はどうなるのか。</li> <li>・経済的な理由で区立幼稚園を希望する人もいるが、認定こども園になることで保育料が上がるのではないのか。</li> <li>・現在の私立幼稚園は、園ごとに保育料が違う。私立の認定こども園はどうなるのか。</li> <li>・保育料が高ければ家庭保育をするしかないのか。</li> </ul>	<p>◇27年4月からの新制度では、認定こども園は公私とも同じ枠組みの給付型施設になり、国が運営の基準となる公定価格を示す。基本は保育園と同様に応能負担になると考える。これまでの金額等さまざまな要素を考慮して、条例で制定する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ認定こども園で幼稚園枠と保育園枠で保育料は違うのか。</li> </ul>	<p>◇国の検討では、幼保の保育料違いは、所得階層区分、保育の認定、利用時間の長短を勘案するとしている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立が園独自教育で保育料を大きく上乗せするのではないのか。</li> </ul>	<p>◇保育料の上乗せ範囲は制度がまだ確定していないので詳細は不明だが、極端な上乗せはないと考える。</p>

### ○公私連携幼保連携認定こども園について

主な質問・意見	回答・区の考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>・園独自の教育について、保護者は受ける・受けないの選択肢があるのか。</li> </ul>	<p>◇協定を締結する中、教育内容は一定程度統一内容で協議する。私立のメリットは活かしたいと考えている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園では、早く帰る園児と長時間の園児が混在する。園児が戸惑うのではないのか。</li> </ul>	<p>◇短時間児も必要に応じて預かり保育を利用していただく。必要なサービスを必要に応じて提供するという考え方で園活動の工夫でそうしたことも解消していく。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立の運営事業者はどこになるのか。</li> </ul>	<p>◇法令上、学校法人か社会福祉法人になるが、具体的には今後選定になる。</p>

### ○給食・アレルギー対応について

主な質問・意見	回答・区の考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園は給食か。アレルギーのある児の対応をどう考えるのか。</li> </ul>	<p>◇給食が基本になる。保育園ではアレルギー対応を一部実施しているが、保護者と児の状況を確認する。場合によってはお弁当も想定される。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギーのある児を受入れる際の区の心構えを教えてください。</li> </ul>	<p>◇園児や保護者が安心して園生活を送れることが第一であり、事前に保護者と提供できる食事内容で十分に相談して対応していく。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・重度の場合、アナフィラキシーショックの対応も求められるのではないのか。</li> </ul>	<p>◇認可保育園ではエピペンの使用方法の研修をしており、同様に対応していきたい。</p>

○幼稚園教員の今後の処遇について

主な質問・意見	回答・区の考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>区立幼稚園の先生は今後どうなるのか。</li> </ul>	<p>◇認定こども園に移行したら、幼稚園教諭と保育士両方の資格が必要。経過措置の間に、一定の通信講座の受講等により所有していない資格を得ることができる特例措置があり、(その期間が過ぎたらこども園には勤務できないので)区としても支援していく。</p>

○幼児教育センターについて

主な質問・意見	回答・区の考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児教育センターは建物(施設)のことか、機能のことか。</li> </ul>	<p>◇(現在の小・中学校のための教育センターも、区の規模から考えると手狭であり、その整備と合わせてだが)最終的には施設の整備であるが、その中で幼児教育の充実を図る機能を充実させていきたい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児教育センターの設置の目的は何か。</li> </ul>	<p>◇小1プロブレムへの対応。研修・研究等の具体的な手段を行うため、これまでの活動をさらに充実させていくため、幼児教育センターで計画的に取り組みたい。</p>

○子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査について

主な質問・意見	回答・区の考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>ニーズ調査の内容について教えてほしい。</li> </ul>	<p>◇8月に法定で義務付けている子ども・子育て支援事業計画の作成のため、0～9歳まで各年齢1000名を抽出してアンケートを実施。保護者の希望するサービスの内容や量を回答していただくものである。</p>